



作文1部

年に一どの楽しみ

横手市立醍醐小学校 三年 国 安 陽 咲

私の家のはかじゆ農家ですがお米も作っています。私はほいく園の年少のころからおてつだいをしています。だんだん上手になってきているなとかんじました。

四月二十二日にたねまきをしました。私はおばあちゃんとおひりようマットが入っているなえばこを、たねまきのきかいに入れて水をかける仕事をしました。たねや土がこぼれないようにすきまなく、なえばこを入れるように気をつけました。そのなえばこにきかいでたねをまいて土をかけました。たねをまき終わったら、ビニールハウスの中にならべました。私はなえばこがおもくて一まいずつしか持てませんでした。お父さんは五まいも持っていました。お父さんが、

「マットじゃなくて、土を使うやり方もあるんだよ。」
と言っていました。土はマットよりおもしろいみたいなので、もっと持つのが大へんだなと思いました。

五月二十日に田うえをしました。おじいちゃんが田うえのきかいでイネのなえをうえました。お父さんとおじいちゃんはなえをわたしていました。毎年やっているの、ばつぐんにチームワークがよかったです。私はお母さんとおばあちゃんと空いたなえばこをタワシであらいました。私は長ぐつやズボン、長そでがビショビショになるくらい一生けんめいあらいました。お父さんが、

「むかしの人は手で一本一本なえをうえていたんだよ。」
と教えてくれました。今はきかいがあるから早く終わるけど、むかしは時間がかかるし、こしがいたくなりそうで大へんそうだなと思いました。

私はもう少しでしゅうかくの時なのでワクワクしています。みんなで作ったお米を食べるのが待ち遠しいです。

